

NT-proBNPは 血清検体でOK!

生化学項目と同一採血管だから採血量も少なく追加オーダーが可能。

心不全の診断・病体把握に有用なNT-proBNPは、専用採血を必要とせず血清による測定が可能です。
また、検体の保存安定性が良好で、溶血の影響も受けず、血漿検体でも測定可能です。

BNPの場合
BNPは別採血が必要です。

生化学検査 + BNP専用管

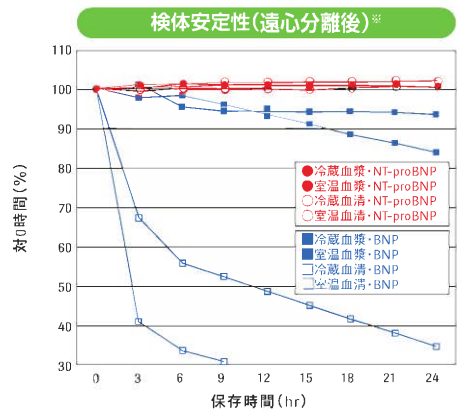
血清 + 血漿



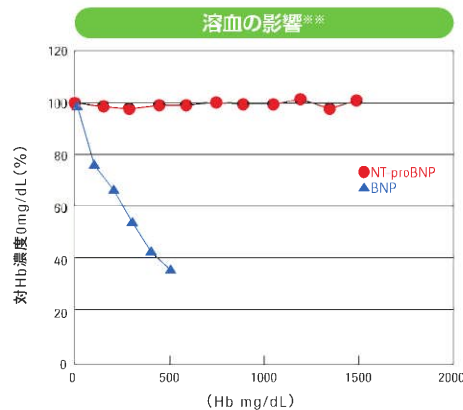
NT-proBNPの場合
NT-proBNPは特別な採血が必要なく、追加オーダーが可能です。
生化学検査 + NT-proBNP

血清

生化学検査等と同一採血管で測定できます



※ロシュ・ダイアグノスティクス社データ



※※川崎医科大学 上杉ら: 岡山医学検査 vol.11 No.1, およびロシュ・ダイアグノスティクス社データより引用改変

もっと・心臓・NTヘルスケア

心不全マーカー

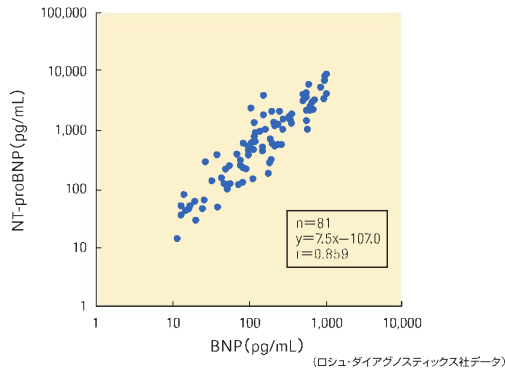


ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N末端フラグメント

NT-proBNPは、心不全の診断・病態把握に有用です。

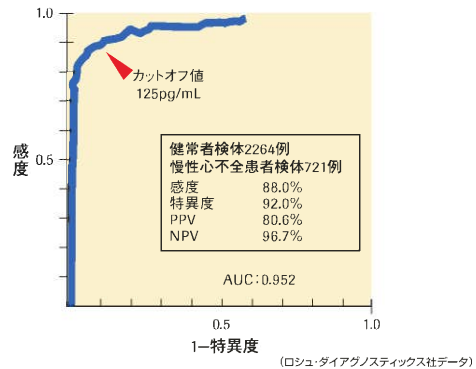
NT-proBNPとBNPとの相関

BNPとNT-proBNPとの相関を求めたところ良好な結果が得られました。



慢性心不全除外カットオフ値(ROC分析)

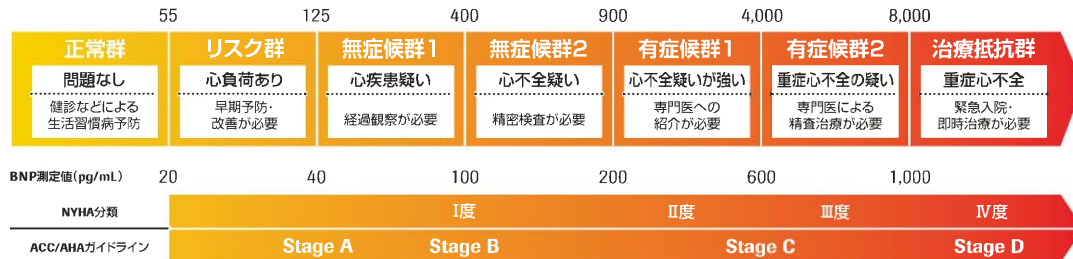
NT-proBNP 125pg/mLをカットオフ値として陰性的中率(NPV)を求めたところ良好な結果が得られました。



! NT-proBNPを活用することにより、高リスク、無症候心不全等の発見が容易になり、糖尿病、高血圧などにおける心不全の早期発見・治療に有用です。

NT-proBNPの測定値と慢性心不全の診断指標

NT-proBNP測定値 (pg/mL)



米心臓学会(ACC)/米脳心臓協会(AHA)の慢性心不全の評価および管理のガイドラインでは心不全をStage A~Dの4段階に層別化し、顕性心不全であるStage C以降へ進行しないよう、早期の段階で治療管理することの重要性が強調されています。
日本循環器学会「慢性心不全治療ガイドライン(2010年改訂版)」より引用改定

保険適用の内容

測定項目：ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)精密測定

主な対象：心不全の診断または病態把握のために実施

主な測定目的：血清または血漿中のNT-proBNPの測定

保険点数：140点(判断料 生化学II 144点)

測定方法：電気化学発光免疫測定法

算定における留意事項

※ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)精密測定及びヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)精密測定は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に1回に限り算定する。
※1週間以内にヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)精密測定、ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)精密測定とヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)精密測定を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。
※本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に本検査の実施日(ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)精密測定を併せて実施した場合は、併せて当該検査の実施日)を記載する。

2011年4月現在



ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 〒105-0014 東京都港区芝2-6-1
カスタマーサポートセンター ☎0120-600-152 <http://www.roche-diagnostics.jp>

1015.IM.TMS.10000.CO.E06-053G